

平成17年度新規採択事業 評価調書

(平成16年度 新規採択時評価実施)

事業の概要

事業名	街路事業 I・Ⅲ・14 葛野大路 (太子道通～丸太町通)		
事業区間	自：京都市右京区太秦安井辻ノ内町 至：京都市右京区太秦安井小山町	延長, 幅員又は面積	延長L=480m 幅員W=27m
総事業費	C=5,300百万円	完成予定年度	平成25年度
事業概要 (目的・内容等)	I・Ⅲ・14 葛野大路は、南区吉祥院地区の国道171号から右京区花園地区の丸太町通に至る本市西部地域における南北幹線道路であり、本事業の実施により、本路線の全区間が完成することとなる。 本事業は、国道9号や171号等の広域国道網と連携した都市の骨格となる幹線道路網の形成を図ることにより、市内の交通渋滞の緩和や防災上重要な避難路の確保を図るとともに、快適な市民生活と円滑な都市活動を促すものである。		
箇所図			

事業を巡る社会経済情勢等

社会背景と 今後の動向	本路線の整備については、平成5年度に御池通から太子道通までの間を、平成16年4月に四条通から三条通までの間を完成させており、更に、三条通から御池通までの間を平成16年度中に完成予定であるなど、着実に事業進捗を図っている。 引き続き、本事業を実施し、本路線の全区間の整備を完成させることは、本市西部地域における緊急の課題となっている。
市民ニーズ	本市の西部地域においては、特に南北の幹線道路の整備が遅れていることから、右京区基本計画に「右京区のまちづくりに大きく寄与し、優先的に整備すべき道路」として本事業区間が位置付けられているなど、本事業は市民ニーズの高い事業である。

上位計画から見た事業の有効性

京都市基本計画		事業ごとの上位計画	具体的な効果と受益者
大 項 目	小 項 目		
□安らぎのあるくらし ■華やぎのあるまち □市民との厚い信頼関係 の構築をめざして	市民のくらしとまちを支える 基盤づくり	右京区基本計画	広域国道網と連携した都市の骨格となる幹線道路網の形成を図り、市内の交通渋滞の緩和や防災上重要な避難路の確保を図るとともに、快適な市民生活と円滑な都市活動を促す。（地元住民、来訪者、観光客等）

事業の要件

環境景観への配慮事項	本路線は、第4種第1級の規格であり、道路構造令により植樹帯の設置、透水性及び排水性舗装を行い、良好な道路交通環境の確保、都市型水害の発生抑制及び道路交通騒音の低減等を図る。
市民と行政の パートナーシップ	事業認可時、用地測量、用地買収及び工事に先立って節目ごとに地元説明会を開催し、地元住民の意見の反映や地元住民への情報提供を積極的に進め、市民と行政のパートナーシップを図っていく。

事業の評価結果

評 価	A
理 由	本市西部地域における南北幹線道路である本路線の整備は、市内の交通渋滞の緩和や防災上重要な避難路の確保を図るとともに、快適な市民生活と円滑な都市活動を促すものであり、早期完成の市民ニーズも高い。 したがって、本路線の全区間の完成を図る本事業は、早急に実施する必要がある。

評価指標の算定結果

費用便益比（C B R）	$B / C = 2.29$
--------------	----------------

事業の必要性

評価軸	評価項目	評価指標
誰もが安心して暮らせるまちづくり	環境への負担の少ない持続可能なまちをつくる	■対象道路の整備により自動車からのCO2排出量が削減される ■現道等における自動車からのNO2排出量が削減される ■現道等における自動車からのSPM排出量が削減される
	災害に強く日々のくらしの場を安全にする	■緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替道路を形成する ■避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する ■幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する ■密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす
	日常生活における身近な安全や安心を確保する	■三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる ■照明灯が設置され夜間の安全性が向上する
	歩いて楽しいまちをつくる	■市街地又は歴史景観地区等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する
魅力あるまちづくり	美しいまちをつくる	■対象区間に街路樹が設けられる
活力あふれるまちづくり	産業連関都市として独自の産業システムをもつ（中心市街地の活性化）	■交通状況の改善等、都心部及び既成市街地の活性化に大きく寄与する ■中心市街地へ至る道路であり、現道もしくは並行する道路の混雑度が1.0以上
	魅力ある観光を創造する	■観光地・レクリエーション基地と交通拠点間とのアクセスを向上させる ■主要観光地間相互の到達時間の短縮に寄与する
	大学の集積・交流が新たな活力を生み出す	■既存の大学・学術研究機関等へのアクセスを向上させる
市民のくらしとまちを支える基盤づくり	個性と魅力あるまちづくり	■現道等における交通不能区間を解消する ■現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する ■市役所・区役所へのアクセス向上が見込まれる
	多様な都市活動を支える交通基盤づくり	■総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車に対応する ■DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する ■現道等の年間渋滞損失時間(人・時間)が削減される